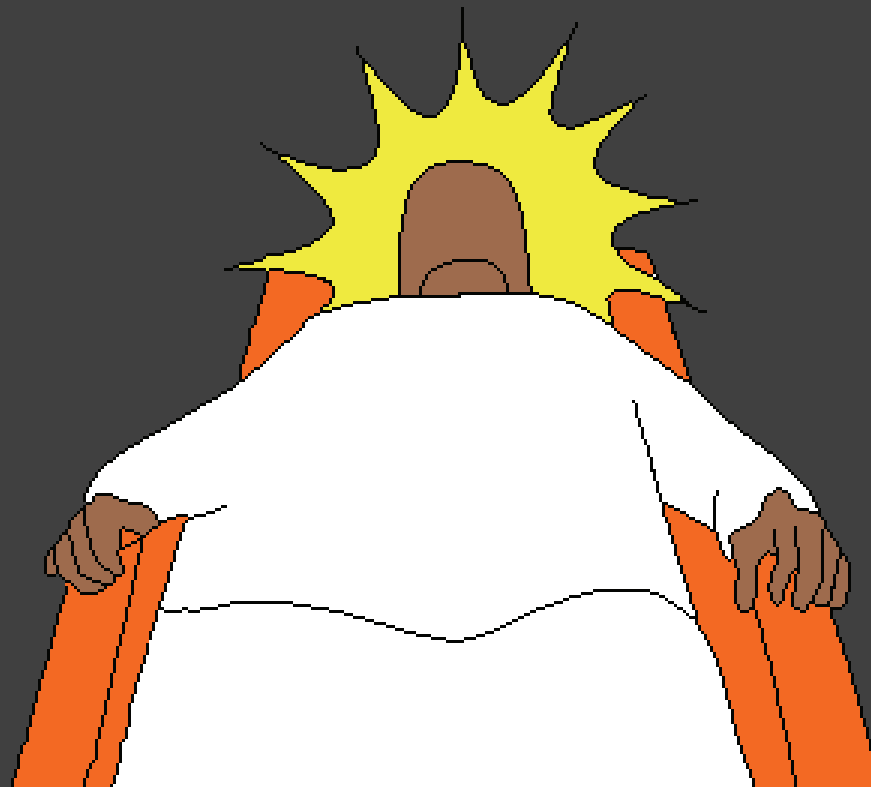


こども  
子供のインターネットバイブル

あんない  
案内いたします

しゃ  
よげん者、イザヤ



ぶん  
文: Edward Hughes

え  
絵: Jonathan Hay

かいさくしゃ  
改作者: Mary-Anne S.

ほんやくしゃ  
翻訳者: Yuko Kajiki

監修者: Dan Ellrick

しゅっぱんしゃ  
出版社: Bible for Children

[www.M1914.org](http://www.M1914.org)

©2007 Bible for Children, Inc.

きよか たにん う かぎ はなし また  
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、  
きよか  
許可されています。



イヤヤは、よげん者<sup>しゃ</sup>でしたよ。さて、よげん者<sup>しゃ</sup>ってどんなしごとをするのでしょ  
う。それはね、神さまの言われていることを、人々<sup>かみ</sup>におはなしするしごと<sup>い</sup>なので  
す。そのころの人々は、

いつも神さまのこ  
とばにしたがっ  
て生きていたわ  
けではありません  
でした。



でもイザヤは、けっして神さまをがっかりさせませんでしたよ。なぜって、4人  
の王さまがつぎつぎにこの国をおさめていたあいだ、イザヤはずっと神さまのこ



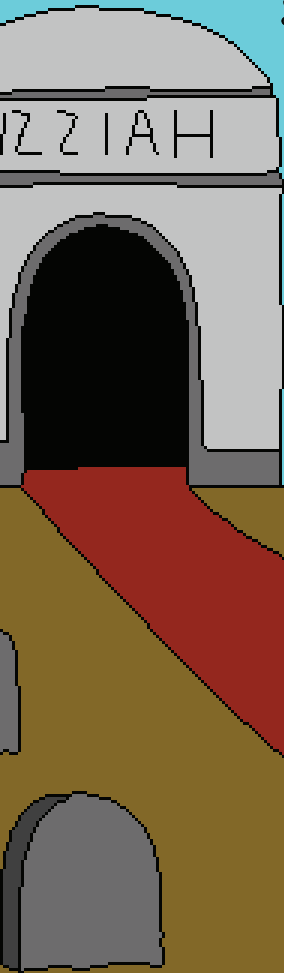
とばを、みんなに教え  
つづけていたのです  
から。ウジヤ王の  
時代から、ヨタム  
王、アハズ王、へぜ  
キア王の  
時代ま  
でね。



おう まち とち おう かみ  
ウジヤ王は、エルサレムの町にあるユダの土地の王さまでした。神さまは、  
おう しゆく おう  
はじめウジヤ王をととても祝ふくされていきました。どうしてって、ウジヤ王は、  
かみ い ただ  
神さまがごらんになり、「よし」と言われる正しいことをしたからです。  
おう かみ  
でもね、ウジヤ王は、だんだんいばるようになり、神さまにしたがうのを、  
びょう し ひとり  
やめてしまったのです。かれはらい病になって、死ぬまで一人ぼっち  
い  
で生きなければなりませんでした。



おう ねんいじょう おう おう な  
ウジヤ王は、60年以上も王さまでした。そのウジヤ王が亡くなって、つぎに、  
かれのむすこヨタムが、この王となりました。ヨタムは17年のあいだ、王さ  
かみ おう しゆく  
までした。神さまは、ヨタム王をととても祝ふくしてくださいました。  
おう かみ つた  
なぜなら、ヨタム王は、神さまのことばを伝えるイザヤや、  
じゃ き  
ほかのよげん者のはなしをよく聞いて、  
そのとおりにしたからです。



ヨタムのむすこは、アハズといひます。アハズは、20さいでこの国の王さまと  
なり、エルサレムで16年間、王さまでした。アハズはね、神さまのことばな  
ど、まったく聞きませんでした。それどころか、ぐう像やほかのまちがった神さ  
まを礼拝していました。そして、たくさんのイスラエルの人々に、自分と同  
じように、まちがった礼拝をするように言ったのです。もちろんイザヤ  
は、なんども言いました。「あなたのしていることは、まちがっています。」ってね。でも、  
アハズは、神さまからの注意など、どうでもよかったです。アハズは、  
たった35さいのわかさで、亡くなっていました。



かみ 神さまは、つぎの王へゼキアをたいそう 祝ふくなくさいました。どうしてって、  
おう へゼキア王は、ぐう像やまちがった神々をみんなすててしまい、ほんとうの神  
おう ぞう かみがみ さまにお祈りしたからです。てきの軍たいが、ユダを攻めてきたときです。へ  
いの ぐん せ

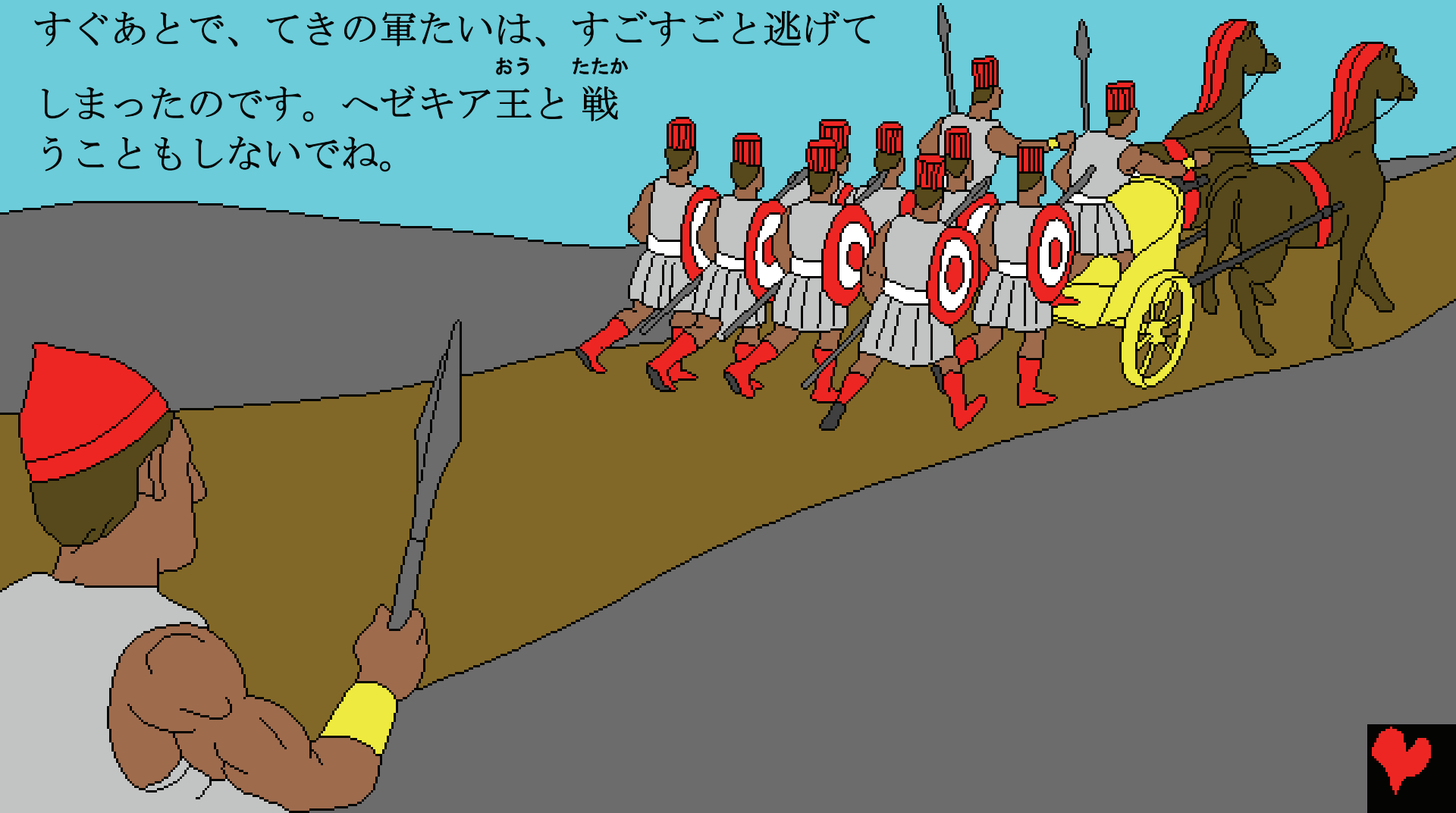
じぶん ぐん ぜキアは、自分の軍たいがとてもよわく、勝  
か けてそうもないことがよくわかっていました。  
へゼキアはイザヤに、こうたのみました。

せんせい かみ たす 「イザヤ先生、どうか神さまに、わたしたちを助  
いの けてくださるようお祈りしてください。」ってね。

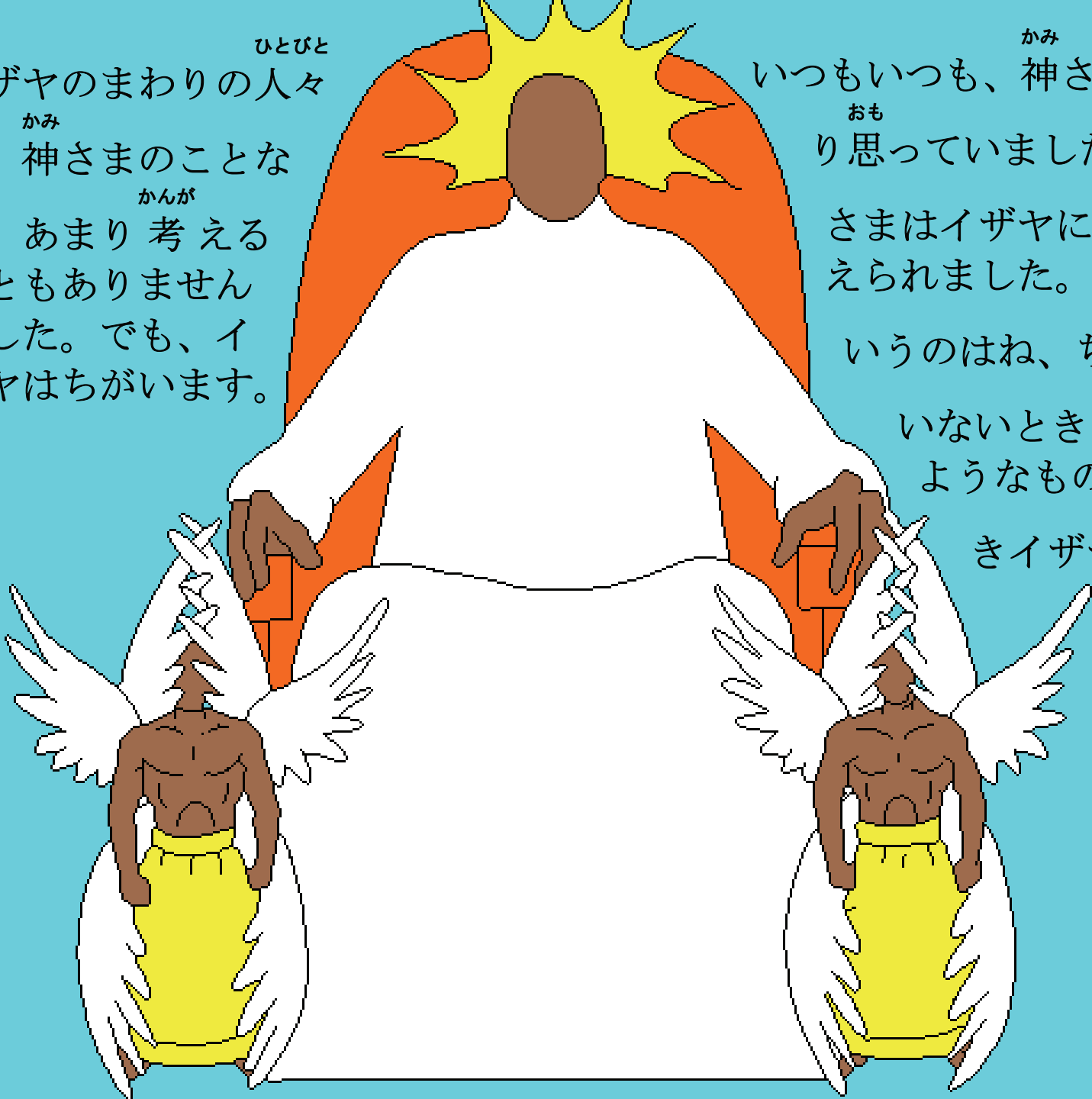




そこでイザヤは、このようなことばを、王につたえました。「へゼキア王よ、  
これは、神さまが言われていることである。てきの軍たいを、けっしておそれる  
ことはない。わたしが、てきを負かしてしまおう！」神さまがこれを言われた  
すぐあとで、てきの軍たいは、すごすごと逃げて  
しまったのです。へゼキア王と戦  
うこともしないでね。



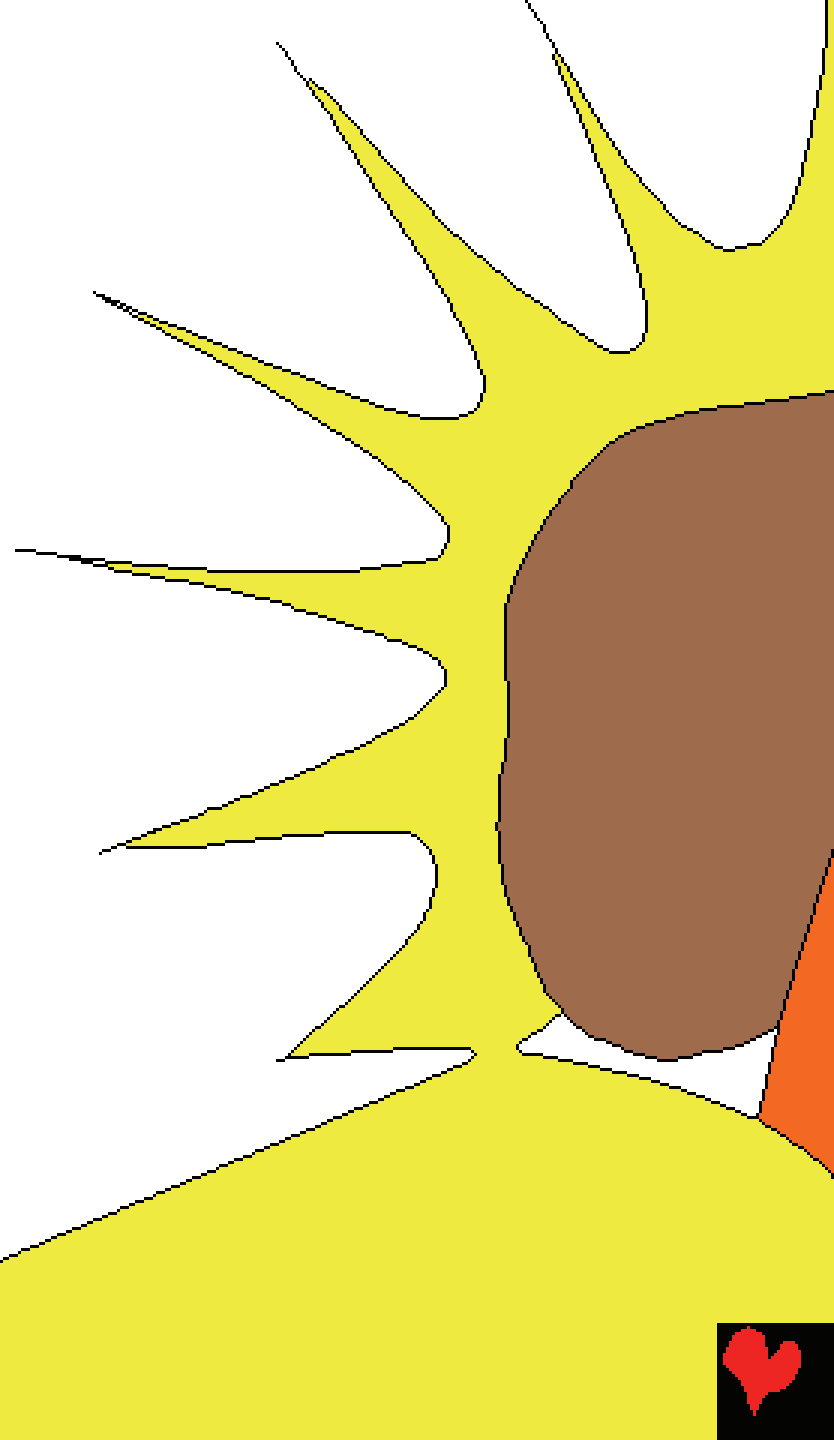
ひとびと  
イザヤのまわりの人々  
かみ  
は、神さまのことな  
かんが  
ど、あまり考える  
ことありません  
でした。でも、イ  
ザヤはちがいます。



かみ  
いつもいつも、神さまのことばか  
おも ひ かみ  
り思っていました。ある日、神  
あた  
さまはイザヤにビジョンを与  
えられました。ビジョンって  
ねむ  
いうのはね、ちょうど眠って  
み  
いないときに見えるゆめの  
ようなものです。そのと  
しゅ  
きイザヤは、主がどん  
ひか  
なに光りかが  
やくすばらし  
かた  
い方であり、  
せい かた  
聖なる方であ  
るか、わかつ  
たのです。



かみ 神さまは、またそのビジョンの中で、  
なか イザヤにこのようにたずねられました。  
「さて、わたしは、いったいだれ  
おく を送ったらよいのだろうか。」イザヤ  
かみ は、すぐこうこたえましたよ。「神さ  
ま、ここにイザヤがいるじゃありません  
い にか。わたしに行かせてください！」  
かみ い イザヤは神さまの言われることなら、  
なんでもよろこんでやりたいのです。  
い そしてどこへでも行くつもりでした。



おも かみ  
イザヤは、こう思いましたよ。「もしかしたら神さまは、わたしをと  
くに す ひとびと い  
いとおい国に住んでいる人々のところへ、行かせてくださるのもし  
かみ き ひとびと  
れない。神さまのことを、まだ聞いたこともない人々のところへね。」



でもね、そうじゃなかったのですよ。神さまは、神さまの国に住ん  
でいる神さまの民に、話しをするようにいわれたのです。イザヤ  
は、ここの国の人々に「神さまは、あなたたちの罪を、おこっ  
ていらっしゃる。」と、言わなければなりませんでした。



ほか ひとびと

つた

イザヤは、この他に人々にどうしても伝えなければならないことがありましたよ。それって、とても素晴らしいことだったのです。それはね、「いつか、わた

たす

かた

こ

かた

したちを助けてくださるつよいお方が、やって来られるだろう。そのお方は、わ

てき つみ

たしたちのすべての敵と罪からすくってくださるだろう。」  
ということでした。

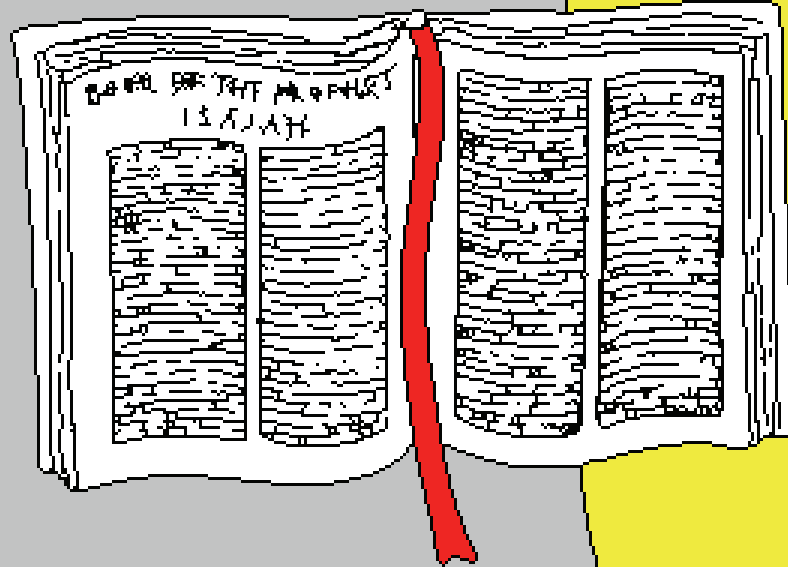


ユダヤの人々は、このお方のことを、メシアと呼んでいました。ほんとうはね、  
ユダヤの人たちは、神さまがメシアを送ってくださるってわかっていたのです。  
でもね、多くの人たちは、「メシアが来られるのは、まだまだ先のことだ。」っ

て言って、好きかってない  
ことをして生きていま  
した。

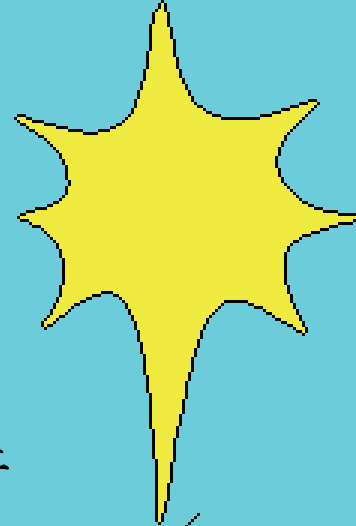


イザヤがメシヤにつ  
はな  
いて話したことは、  
ほん  
みんなイザヤの本に  
か  
書かれていますよ。  
じつはね、メシアが  
よ  
この世にきてくだ  
さったのは、イザヤ  
か  
がこれらのことを書  
なんびやくねん  
いてから何百年も  
たってからでした。  
い  
でも、イザヤが言っ  
はな  
たメシアのお話し  
は、すべてほんとう  
でした。





い  
イザヤは、このように言いました。  
かみ じしん あた  
「神さまご自身が、しるしを与えて  
くださるだろう。」



み おとこ こ  
見よ、おとめが男の子  
う こ  
を生み、その子のなまえは、インマニ  
ひとびと き

ュエルとよばれるだろう。」人々はそれを聞いて、

かみ はな  
イザヤが神さまのメシヤのことを話している  
って、すぐにわかりました。どうしてって、

おんな ひと う  
女の人がおとめのままで、こどもを生  
むなんてあるはずがない  
ですものね。

インマニユエルというのは、  
かみ  
神さまが、わたしたちといっ  
しょにいてくださるっていう  
いみ  
意味なのです。





「わたしたちのため、一人のみどり子が  
生まれるだろう。一人のおとこの子が与  
えられるだろう。そして、すべての力  
は、その子が持つようになるだろう。か  
れの名は、おどろくべきカウンセラー、  
おいなる神、えいえんの父、平和の  
君とよばれるようになるだろう。」イザ  
ヤは、神さまが、かならずやくそくを果  
たされると言いました。イザヤは、まる  
でこのやくそくが、もう果たされたよう  
に話しましたよ。このように未来のこと  
を話す人が、よげん者とよばれます。



イザヤは、「メシアはすばらしい方で、すばらしいことをなさるだろう。」と  
い  
かみ  
ひとびと つた  
い  
言いました。また神さまは、イザヤにこのように人々に伝えるよう言われまし  
た。「メシヤは、苦しまれ、殺されてしまうのだ。」と。そのときイザヤは、な  
ちから  
んだかふしぎだなあって思ったかもしれませんか。メシアは、すばらしくて、力  
ほう  
よわ  
づよい方なのに、どうして弱くキズついてし  
かみ  
まうのだろうってね。でもイザヤは、「神さま、  
どうして？」ってたずねませんでした。  
かみ  
い  
イザヤは、ただ神さまが「言いなさい。」  
い  
つた  
と言われたことだけ伝えました。  
かみ  
なぜなら、すべて神さまのことばどおり  
になることが、わかっていたからです。



メシヤは、ほんとうに<sup>こ</sup>来られたのです。でもね、それはユダヤの<sup>ひとびと</sup>人々だけのため  
じゃなかったのですよ。神さまは、イザヤに<sup>かみ</sup>こう<sup>い</sup>言われました。「メシヤはね、  
いほう<sup>じん</sup>人への<sup>ひかり</sup>光なのです。」いほう<sup>じん</sup>人というのは、ユダヤ人ではないこの世の<sup>よ</sup>  
すべての<sup>ひとびと</sup>人々の<sup>かみ</sup>ことです。神さまは、わたしたちひとり<sup>あい</sup>ひとり<sup>あ</sup>を愛し、祝ふくし  
てくださるために、メシヤを<sup>よ</sup>くださったのです。この世のおわりには、どの<sup>くに</sup>国の<sup>す</sup>  
どこに住んでいても、すくってくださるのです。そう、あなたもわたしもね。



しゃ  
よげん者、イザヤ

かみ み せいしょ しる  
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

しょ しょう  
イザヤ書 1, 6, 7, 9, 53 章

み ひら ひかり あた  
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん  
詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ  
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、  
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、  
おも  
思っていらっしゃるのです。

かみ わたし かみ  
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、していらっしゃいます。それを、神さま  
は、罪とよばれています。その罪のむくいは、死です。

かみ あい ひとり こ  
けれども、神さまは、あなたをとも愛していらっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ  
よ おく つみ じゅうじかじょう な  
の世に送ってくださいません。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられたのです。けれども  
てんごく  
それから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさ  
まを信じ、ゆるしてくださいとおねがいするらなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま  
いま ところ き なか す  
は、今、あなたの所へ来て、あなたのところの中に住んでくださいません。そして、いつまでもイエスさ  
まといっしよに生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるらなら、神さまにこう言ってください。  
あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な  
愛す神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなっ  
てくださいません。そして、よみがえって、いま生きて  
いらっしゃいます。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるしてください。それで、私は今、あた  
らしい命をいただけません。そして、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしよにいる  
こ  
ことができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることができますよう、たす  
けてください。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ  
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましよう！ ヨハネによる福音書3：16

